

中央区 鏡淵小学校区コミュニティ協議会

活動名：安心・安全な街づくり 住んでよかったこの地域

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

自然災害が多発しているので、隣近所との声掛けをし、地域の皆さんと交流を深めていく必要があると考えた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

町内会自治会それぞれが原点に立ち、明るい街づくりをすることが大切である。そのために「アイサツ」運動を行った。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

小・中学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

小中学生に積極的に声掛けを行うことで、地域の活性化につながった。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

当初声掛けをしても返事が少なかったが、小学校の生徒には「ハイタッチ」を行うことで絆を深めている。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域住民が一体となって行動していくことが重要であるため、日頃からあらゆる機会をとらえて声掛けを行っていく。

中央区 有明台小学校区コミュニティ協議会

活動名：放課後のひまわりクラブ支援連携モデル事業

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

児童が授業終了後歩いて1キロ離れたひまわりクラブまで通う状況に心を痛め、交通事故や誘拐事件などもあることから、地域の子どもを地域で守る体制づくりが急務であると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

関係者の協力をいただきながら、帰宅支援ボランティアスタッフがひまわりクラブの児童の下校時に自宅まで引率する支援をスタートしました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

ボランティアスタッフは13名。1日4人体制により3ルートで帰宅支援を実施しました。秋は陽も短く児童の家庭から大変喜ばれています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

スタートして7か月経過しましたが、支援体制に課題があり当初の予定どおりに進めることができませんでした。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

帰宅時間帯がまだ明るく危険が少なくなった6月から夏休み後まで一旦休止し、体制を立て直したうえで、子どもたちの「安心・安全」のために活動を再スタートしたい。



中央区 有明台小学校区コミュニティ協議会

活動名：防災に係る黄色いタオルの取組について

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

新潟市では平成19年度より災害時に援護が必要な方を対象に希望を募り、災害時要援護者として登録を行い、自主防災会、民生児童委員会、町内会などの安否確認や避難付き添いなどを求めてきました。しかし、他にも未登録者があり災害時にこれらの方々への取り扱いをどうするか、災害時に自主防災会の役割分担では人手が足りず、災害時要援護者支援ができなくなる懸念がありました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

全世帯に安全確認用の黄色いタオルを配布し、災害時に戸外の一番見やすい場所に掲示して身の安全を知らせる取組を行っています。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

自主防災会の救出救護部に「黄色いタオル調査員」を選任し、調査員から訓練本部へタオル掲示状況を報告するよう依頼しました。登録されていない要援護者も避難訓練に参加することになり、よりきめ細かい防災訓練になりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

特になし

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

実施した防災訓練についてアンケート調査を実施し、その結果を次回以降の訓練に反映させていきたい。コミュニティ協議会は様々な活動を通じて、地域住民がお互いに交流を重ねるとともに、防災訓練を一層充実させ減災に努めることにより、安心して生活できる安全なまちづくりを目指していきたい。



中央区 上山校区コミュニティ協議会

活動名：28年度 防災訓練

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

災害（地震・津波）に備える意識を高め、安心安全な地域づくりを基本として「自分の身は自分で守る」ための防災訓練を実施した。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

- 1 推奨訓練（一時避難場所）自治会としての自主計画訓練
- 2 基本訓練（初期消火、AED、心肺蘇生、応急手当、濃煙体験等）
- 3 参加者 約400名

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

新潟市消防局中央消防署、鳥屋野地区消防団、市立上山中学校、市立上山小学校

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

今回7回目の「反復訓練」を通して学び研究し、あらゆる災害の教訓を活かして、地域の安心安全が高まったと確信している。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

訓練機材の調達、今回は特に濃煙体験の設定で苦労があった。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後もくり返しくり返しの訓練を実施し学び研究して、あらゆる災害（地震、津波、洪水、土砂災害）等に備える。



中央区 上所校区コミュニティ協議会

活動名：地域で子どもを見守る安心安全まちづくり活動

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

平成28年の春に、地域内に不審者が出現したことから、子どもたちを危険から守るため、地域が丸となって見守り活動に取り組む必要があると考えました。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

犯罪などの危険な事態が子どもたちに及ばないような環境をつくるため、防犯協会の役員と有志による腕章をつけての見回りや、自家用車に「パトロール中」のステッカーをつけての巡視等をおこないました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

上所小学校

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

次第に参加者も増えるようになり、地域の中で、「子どもたちを危険から守る」という意識が強くなりました。

また、子どもたちの声かけにより、「さわやか挨拶の輪」が広がってきています。さらに、巡回中にゴミ拾いをする住民もあり、環境面でもいい影響が出ています。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦勞した点はどんなところですか？

当初は、一番危険だと言われる下校時の見回りが人員不足で手薄になっていました。重要な時間帯であるため、地域で協力者を募集したところ、多くの住民の方から参加いただくことができました。

現在は、この時間帯において、特に重点的に巡回・巡視を行っています。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

予算の捻出に課題がありますが、巡回・巡視活動に安心して取り組むためのボランティア保険への加入も検討しており、より一層の見回り活動に努めたいと考えています。



中央区 上山校区コミュニティ協議会

活動名：健康・福祉研修見学会（医療）

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

26年度から進められている「地域包括ケアシステムの構築」の一環として、住民皆が健康な日々を送り、健康寿命を延ばし、福祉の共有が一層深まり、喜びと笑顔の地域でありたい。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

日常多くの住民が関わっている医療について、正しいくすりの知識、正しいくすりの使い方等について学んだ。

※新潟薬科大学 講師 薬学博士 若林広行 教授

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

特になし

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

誰しも医療は医療関係者任せであるが、この受講によって「大切な自分の命を守る」ための意識が強くなったと思います。医療は病気を治したり、身体の正常な働きを促すなど、健康生活を保ち、助ける役目があることが理解できた。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

大学側からもわれわれの活動を良く理解していただき、色々な面でご配慮がありました。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

今後とも「地域包括ケアシステム」の一環として介護・医療について学び、健康寿命の延伸につなげたいです。また、特定健診受診率アップの啓発活動も推進します。



大豆イソフラボンに新事実！ 「エクオール」をご存じですか？

腸の中では

大豆製品を食べると… 大豆イソフラボンが 腸内細菌によって エクオールに生まれ変わります

パワーアップ!

2016/09/29



中央区 上山校区コミュニティ協議会

活動名：福祉研修会（地域包括ケアシステム）

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

前年度に続き「知って安心—地域包括ケアシステムの構築」を更に一歩前進しての学びで、行政の担当課（中央区健康福祉課）による研修を受けた。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

中央区健康福祉課の担当係長による実践に即した内訳の研修と他校区コミ協の実践報告を受けた。
①介護保険制度の改正 ②支え合いのしくみづくり ③ちいきの茶の間

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

鳥屋野地区公民館

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

平成 29 年度より実践スタートするに当たり、事務局、生活支援コーディネーター等の設置で、行政と地域による協働意識が向上された。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

特になし

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域の支え合いのしくみづくり活動を持続展開する。「人は皆年を取っても、自分が望むところで心豊かに暮らしたい、そんな願いがある。」



中央区 栄地区コミュニティ協議会

活動名：安全で安心なまちづくり推進事業

活 動 内 容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

ひとり暮らしのお年寄りが多く地域の安心・安全な暮らしを守っていくため福祉、防災、防犯、防火及び環境等多面的な観点からこの事業を実施し地域住民の安心・安全を守ることで、友好的な活動を繰り広げ、その活動をPRして安心・安全の対策に理解を促進するとともにひとり暮らし高齢者世帯の福祉向上を図る。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

お年寄り宅への定期的な見守り活動をコミ協文教部・厚生委員と地域見守りお互いさまくらぶ会員とで実施いたしました。玄関での声掛け及び隣近所に訪問してお年寄りの生活に変わったことはないか、異常があったと感じた場合は連絡をいただけるようお願いをしています。また、毎月1回集まってお年寄りの暮らしぶりを話し合い、情報交換をしました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

お互いさまくらぶ

実 績・効 果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

お年寄りから感謝をされて地域のお茶の間サロンや防災訓練にも参加していただくようになりました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

特になし

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

地域のお年寄りの安心・安全を守っていくために、より一層の見守り活動に努めてまいります。

中央区 新潟地区コミュニティ協議会

活動名：地域の交流の場と子どもの学習の場を作り絆を深め人間形成補助活動

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

地域の高齢者と小学生の交流の場を設け、参加者が地域に貢献できる喜びを感じることで、地域のつながりの希薄化を防止し、健康寿命を保つこと。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

地域の高齢者と小学生の交流の場をつくり、学習・遊びを通してお互いが心を通い合わせ、小学生は地域の歴史や昔の様子を学び、高齢者は若い子どもたちと接することで元気・活力を吸収しながら昔遊びを指導しました。小学3年生4クラスを対象にした取り組みのため、事前準備では学校の先生の想いもくみ取りながら、高齢者の活動グループ編成、昔遊び用具の手配、地域の歴史の学習材料の準備や協力できる高齢者の募集を行いました。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

高齢者を募るに当たり、コミハウスの管理人、婦人会、民生委員会、スポーツ振興会、礎コミ協からも協力をしてもらいました。

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

小学生は昔話に目を輝かせ、高齢者は笑顔でお孫さんと接するように話をしたり、昔遊びを教えたり生き生きと若返った様子で、世代を超えた絆が生まれました。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

- ・小学生を迎える部屋の整理後片付けを高齢者にお願いすることに神経を使ったこと
- ・昔遊びの道具を調達するために遠方へ出かけたこと
- ・1クラス30名ほどの団体を4クラス同時に開催のため、部屋の準備や高齢者の割り振りについて

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

小学生には大変好評で、報告会の追加要望まであり、今後継続と準備期間を必要との思いを、学校側と調整し、さらに盛り上げ、高齢者も可能な範囲で多くの皆さんから参加して頂き、支え合いの精神・仕組みづくりの一助として行きたい。

平成 28 年度世代間交流学習会

平成 29 年 1 月 27 日～3 月 3 日の交流写真



中央区 浜浦小学校区コミュニティ協議会

活動名：浜コミ合同演奏会

活動内容

Q 活動のきっかけとなった地域の課題は何ですか？

小学校・中学校・大学が並ぶ地域特性を活かし、地域と学校との交流を深めたい。

Q 課題解決に向けて、どのような活動を行いましたか？

小学校の器楽部、中学校の吹奏楽部、日本歯科大学新潟生命歯学部 of 軽音楽部の合同演奏会を企画・運営した。

Q コミュニティ協議会の構成団体以外で連携・協力した団体等がありますか？

浜浦小学校、浜浦小学校育成会、関屋中学校、関屋中学校 PTA、日本歯科大学新潟生命歯学部

実績・効果

Q 活動によって、どのような効果がありましたか？

過去8年にわたり実施し、地域と学校を結ぶ事業として定着しつつある。

Q 活動を行う段階で、工夫した点や苦労した点はどんなところですか？

三校の調整と、地域住民への広報と参加の要請。

Q 今後、どのように活動を展開していきますか？

アンケートなどにより多くの改善点や要請が寄せられている。しかし、時間的制約などにより実現できていない点が多くある。今後の活動内容等を検討し、地域密着型事業として発展させたい。